



2022年9月14日

各位

会社名 株式会社 タナベ経営
 代表者の役職氏名 代表取締役社長 若松 孝彦
 (東証プライム市場 コード番号9644)
 連絡者の役職氏名 執行役員コーポレート本部長 川本 喜浩
 電話番号 06-7177-4000

2023年3月期第2四半期(累計)および通期連結業績予想の修正 並びに配当予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2022年8月10日付「2023年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」にて公表いたしました2023年3月期第2四半期累計期間(2022年4月1日～2022年9月30日)および2023年3月期通期(2022年4月1日～2023年3月31日)の連結業績予想、並びに配当予想を下記のとおり修正することといたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正について

(1) 2023年3月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(2022年4月1日～2022年9月30日)

(単位:百万円)	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回予想(A)	5,015	300	300	195	円 銭 11.31
今回修正(B)	5,300	500	500	340	19.82
増減額(B-A)	285	200	200	145	—
増減率(%)	5.7	66.7	66.7	74.4	—
(ご参考)前第2四半期実績 2022年3月期第2四半期	4,536	296	300	216	12.57

(2) 2023年3月期通期連結業績予想数値の修正(2022年4月1日～2023年3月31日)

(単位:百万円)	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回予想(A)	11,250	1,015	1,015	640	円 銭 37.13
今回修正(B)	11,600	1,100	1,100	690	40.22
増減額(B-A)	350	85	85	50	—
増減率(%)	3.1	8.4	8.4	7.8	—
(ご参考)前期実績 2022年3月期	10,572	926	931	604	35.06

(3) 修正の理由

タナベコンサルティンググループ（TCG）全体の経営コンサルティング事業における「ストラテジー&ドメインコンサルティング」「デジタル・DXコンサルティング」「HRコンサルティング」「ファイナンス・M&Aコンサルティング」「ブランディング&マーケティングコンサルティング」の各領域におきまして、第2四半期累計期間は主に大企業や上場企業からのニーズの高まりを受け、当初計画より契約が伸びました。また、経営効率化も推進してまいりました。

通期については、TCGが提供する経営コンサルティングサービスの約90%が「継続率70%以上のLTVモデル」（LTV=Life Time Value：顧客生涯価値、顧客と長期の関係性を築くビジネスモデル）であるという前提で連結売上高を予測し、また第3四半期において創業65周年記念および純粋持株会社体制への移行による社名変更等に伴うブランディング・プロモーション投資に加え、人的資本投資の加速を計画しております。

以上の結果、第2四半期（累計）および通期の連結業績予想を上記のとおり修正いたしました。

2. 配当予想の修正について

(1) 配当予想修正の内容

	年間配当金		
	第2四半期末	期末	合計
前回予想	円 銭 8.00	円 銭 16.00	円 銭 24.00
今回修正	9.00	17.00	26.00
(ご参考) 前期実績 (注) 2022年3月期	14.00	16.00	—

(注) 現在の発行済株式総数におきまして、2022年3月期の配当金実績につきましては、中間配当金7円、期末配当金16円の年間23円でありました。当社は、2021年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。よって、2022年3月期の1株当たり配当金につきましては、第2四半期末は分割前、期末は分割後の金額を上記のとおり記載しております。年間配当金合計につきましては、株式分割の実施により単純合計ができないため、表示しておりません。

(2) 修正の理由

当社は、2022年10月1日付で純粋持株会社体制へ移行し、商号を「株式会社タナベコンサルティンググループ」に変更することを予定しております。純粋持株会社体制への移行により、グループ全体の成長性および経営効率をより一層高め、さらなる企業価値の向上を目指してまいります。各期におきましても、着実に業績計画を達成し、さらに充実した株主還元を実現する「増収増益増配」経営を実現していくことにより、株主の皆さまのご期待に応えていく方針としております。

この方針に基づき、2023年3月期の利益水準、財政状態等も総合的に勘案した結果、2023年3月期中間配当金につきましては、前回予想の1株当たり8円から1円増配して1株当たり9円に、期末配当金につきましても、前回予想の1株当たり16円から1円増配して1株当たり17円に修正することといたしました。この結果、年間配当金は26円となる予定であります。

今後も財務健全性を確保しつつ、資本効率の向上を図るとともに、安定的な配当の継続に努めてまいります。なお、2023年3月期第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)は、2022年11月10日に開示する予定であります。

(注) 上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。